

公益財団法人日本バスケットボール協会
平成24年度 第2回理事会 議事録

日 時：平成24年5月9日(水) 14:00～16:05

場 所：JBAオフィス 8F会議室

出 席：<理事>

麻生太郎会長、深津泰彦、伊藤善文、丸尾充の各副会長、樋口隆之専務理事、伊藤信明、臼井秀明、梅野哲雄、大滝和雄、片山正明、熊谷秀樹、鈴木秀太、庄司義明、田窪徹、夏目敏、野村俊郎、萩原伸浩、橋本信雄、林直樹、原田茂、松岡憲四郎、水谷豊、吉田長寿の各理事

<監事>

植田滋監事

<特任委員>

阿部達也、大山妙子、坂本昌彦、高橋雅弘、手塚純、西井歳晴の各特任委員

欠 席：上島正光、品田奥義の各理事、高原洋太郎監事、小倉恭志、三木英之の各特任委員

議 題

- (1) 議事録について
- (2) 2020年オリンピック・パラリンピック競技大会 東京招致に向けた支援決議について
- (3) 名誉顧問、顧問および参与について
- (4) 2012年度男子強化体制について
- (5) 大会要項について
- (6) BWB日本開催にかかる後援名義および運営協力について
- (7) 倫理委員会開催について

1. 定足数の報告

松岡理事より定刻における出席者数の報告があり、定款32条に基づき、理事現在数(25名)の過半数の出席者(出席:23名)を満たす為、会議成立が宣せられた。

2. 挨拶

麻生会長より開会の挨拶があった。

3. 議事

定款に基づき、議長は会長が務め、会長の指名により深津副会長が会議の進行を行った。

(1) 議事録について（深津副会長）

平成24年度第1回理事会（4月11日開催）議事録について、原案通り承認された。

<承認>

(2) 2020年オリンピック・パラリンピック競技大会 東京招致に向けた支援決議について（樋口専務理事）

JOCから各加盟団体に依頼のあった2020年オリンピック・パラリンピック競技大会の東京招致について、当協会としても支援・協力を行うことが承認された。

<承認>

(3) 名誉顧問、顧問および参与について（松岡理事）

定款28条に基づいた名誉顧問、顧問および参与の選任にあたり、旧財団法人時代の名誉顧問2名、顧問11名、参与76名が推薦され、原案通り承認された。尚、選任にあたっては評議員会の推薦も必要なことから、同案にて評議員会に提案することとなった。

<承認>

(4) 2012年度男子強化体制について（萩原理事）

今年度からの男子強化体制については、世界選手権（2014年・2018年）、オリンピック（2016年・2020年）に出場することを目指した強化活動を行うことが説明され、特に将来の日本代表を担う次世代（ジュニア層）の育成・強化を確立するための強化体制の見直し案が提案され、原案通り承認された。尚、今回新たに日本代表チームヘッドコーチを補佐する「アソシエイトヘッドコーチ」、ジュニアカテゴリーの指導者と一体となり次世代の日本代表選手を育てるとともに強化全般についての企画・立案も行う「スポーツディレクター」を新設し、トーステン・ロイブル氏が就任することとなった。また、トーステン・ロイブル氏の契約についての確認があり、前所属の「レバンガ北海道」との契約は終了し、JBAとの専任契約を行うことが説明された。

さらに、平成24年度の男子日本代表チームスタッフおよび候補選手20名が提案され、原案通り承認された。選手選考にあたっては、大学生5名、高校生2名を選考するなど若手への切り替えをはかり、不足している大型選手については、桜木ジェイアール、青野文彦の2名を必要に応じて招集できるかたちとした。

<承認>

(5) 大会要項について（庄司理事）

本年度に開催する下記3大会の大会要項が提案され、原案通り承認された。

- ・「東日本大震災」被災地復興支援 第50回男子・第42回女子全日本教員バスケットボール選手権大会
- ・「東日本大震災」被災地復興支援 2012FIDジャパン・チャンピオンシップバスケットボール大会（17回）
- ・第35回李相佰杯争奪日韓学生バスケットボール競技大会

<承認>

(6) BWB日本開催にかかる後援名義および運営協力について（吉田理事）

FIBAおよびNBA主催の「バスケットボール・ウィズアウト・ボーダーズ（BWB）」の日本開催にあたり、後援および運営協力を行うことが承認された。主管はクロススポーツマーケティング株式会社が先行し、期間は6月13日～16日、会場は味の素トレセン（13～15日）およびアメリカンスクール・イン・ジャパン（16日）にて

行われ、NBAのコーチや選手もキャンプのスタッフとして参加することから、指導者や一般のファンなどへの公開を検討していることが補足された。

<承認>

(7) **倫理委員会開催について**（樋口専務理事）

bjリーグ・大阪エヴェッサ所属のリン・ワシントン選手が大麻取締法違反容疑で逮捕された一連の薬物問題、また、それ以前の万引き問題等を含め、倫理委員会を開催して検討することが提案され、承認された。

<承認>

4. 報告事項

(1) **一般報告**（松岡理事）

2012年3月および4月の諸会議等の開催実績が報告された。

(2) **JBL**（鈴木理事）

4月22日をもってJBL2011-2012シーズン全日程が終了したこと、また、最終順位、プレーオフ結果、アウオード、リーダーズ等が報告された。

(3) **bjリーグ**（阿部特任委員）

4月29日をもってbjリーグ 2011-2012 レギュラーシーズンが終了したこと、また、レギュラーシーズン最終順位、アワード受賞者、観客動員数およびプレイオフの日程が報告された。

(4) **総務部**（松岡理事）

事業報告について、これまでは評議員会での議決事項であったが、新たな定款に基づき評議員会では報告事項となり収支決算のみが議決事項であること、6月の理事会は13日に開催予定であること、評議員会議長や会長候補者選定委員会委員の選出等について、5月8日に9ブロック代表の評議員による会議が開催されたことが報告された。

(5) **企画事業部**（吉田理事）

今年度の新規事業として、登録者（TeamJBAメンバー）向けにJBAオフィシャルマガジン「TIP OFF」を発行したことが報告された。尚、「JBA Point Card」や「TIP OFF」の発行などゼビオグループとの協働事業での個人情報の扱いについて確認があり、いずれもJBAが発行しているものであることが確認された。また、ゼビオグループとの契約内容をもう少しわかるようにしてもらいたいという意見があり、6月の補正予算案審議の際に改めて説明を行うこととなった。

(6) **競技運営部**（庄司理事）

第40回日本車椅子選手権大会の大会結果が報告された。また、大会には天皇・皇后両陛下がご臨席されたことも加えて報告された。

(7) **国体部**（梅野理事）

国体における「中学3年生の参加」、「年齢区分の変更(U-16)」導入の件について、強化部と合同で検討を進めており、6月の理事会で提案する予定であることが報告された。

(8) **審判・規則部**（橋本理事）

審判員の海外派遣の予定やJBA 2012 “3×3(スリー・バイ・スリー)” 競技規則(案)等が報告された。

(9) **女子強化部**（高橋特任委員）

女子日本代表チームのアメリカ遠征において、非常にタイトなスケジュールでハードに練習を行っていることが報告された。尚、選手選考については、大会直前のエントリー期限まで段階を追って選考し、最終的には6月23日の理事会に提案する予定であることが補足された。また、5月7日～9日にU-17女子日本代表チームとU-18女子日本代表チームが合同で強化合宿を行ったことが報告された。

(10) **育成部**（大滝理事）

5月25日～29日に味の素トレセンでJBA公認B級コーチ養成講習会を開催することが報告された。

(11) **国際部**（水谷理事）

4月13日にマレーシアで行われたFIBA ASIA中央理事会の概要および5月28日にFIBA ASIA中期総会が開催されることが報告された。

(12) **新リーグ準備室**（丸尾副会長）

4月27日に新リーグ参加チームの公募が締め切れ、新リーグを構成するに足るチームの応募があったことが報告された。尚、公募申込状況についての詳しい説明が求められたが、申込チームの審査によってはチーム数が減ることや各チームの事情等もあり、総数23チームの公募があったことのみが報告され、内訳等詳細の公表を控えることについて理解が求められた。

今後のスケジュールについては、公募申込チームの審査、参加チームを含めたリーグ概要の検討を行い、6月23日までに概要を固める予定であることが報告された。

また、プロの呼称の件、bjリーグの件、新リーグに参加しないチームの扱い等についての意見交換があった。

(13) **2011 FIBA ASIA女子選手権大会**（吉田理事）

大会決算に関して、2011年度の日本スポーツ振興センターからの助成金の審査がまだ続いており、金額が確定していないことが報告された。

(14) **3×3(スリーバイスリー)について**（樋口専務理事）

3×3(スリーバイスリー)についての今後の方向性について一旦専務理事預かりとして5月の理事会で報告する予定であったが、FIBAや事業パートナーとの関係により状況が変わってきた部分があり、6月の理事会で改めて報告することとなった。

以上